

17 陳情 第 37 号	つくし保育園の新築・認可に関する陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 17 年 9 月 22 日受理、平成 17 年 9 月 27 日付託
陳情者	新宿区若松町 _____ _____
<p>( 要 旨 )</p> <p>( 1 ) 国立国際医療センター内・つくし保育園の新築・認可を促進するよう、厚生労働省・医療センターに意見書を提出して下さい。</p> <p>( 2 ) 多様な保育ニーズに応えるため、つくし保育園の新築・認可を新宿区としても積極的に支援して下さい。</p> <p>( 理 由 )</p> <p>昭和 39 年、当時産休明け保育所があまりなかった時代に、病院に働く人たちが自主的に作ったのがつくし保育園です。病院職員だけでなく、地域にも開かれた保育園として、認可園に入れない人の大きな受け皿となってきました。</p> <p>産休明けから 2 歳児までの保育で、これまでに地域の多くの子どもたちを含め、700 名近くを保育してきて、病院・地域にはなくてはならない存在となりました。</p> <p>産休明け・産休明け後の保育とともに、地域や患者さんの家族の一時保育等も利用できるようになりました。</p> <p>しかし、最近の入園希望者の増加や、就学前保育・病後児保育・夜間保育・延長保育・入院児保育等の切実な要望があります。</p> <p>そこで、つくし保育園の規模を拡大し、病院内の特性を生かして認可を取得すれば、多様な保育要望に応え、待機児を解消することができます。</p> <p>厚生労働省のお膝元での保育園を積極的に活用し、次世代育成支援の先頭に立つことを厚生労働省・医療センターに働きかけていただくとともに、新宿区としても支援をお願い致します。</p>	